

# 太平廣記會校本（附索引） 1—20



書籍番号 45066  
(宋)李昉等編 張国風会校  
2011年11月 A5 9,587頁 (精装)  
北京燕山出版社 ¥40,000(本体)  
ISBN 978-7-5402-2001-3  
発売 株式会社 北九州中国書店  
TEL/FAX 093-921-6570

宋代の四大類書の一つ、《太平広記》は、人民文学出版社(1957年刊)と、後に中華書局刊行に変わった汪紹楹氏校点の活字本がこれまで最も良いとされ、50年以上にわたり版を重ねてきました。今回刊行される《太平広記会校本》は、10年近い時間をかけ、談愷刻本を底本に、孫潜、陳瞻校点の宋本、沈与文の野竹斎抄本、韓国の《太平広記詳節》本、活字本、許自昌刻本、黄晟巾箱本、文淵閣《四庫全書》のほか、《搜神記》、《法苑珠林》、《芸文類聚》、《太平御覧》など関係する古籍を参照し校勘を行ったもので、**これまで通行本であった汪紹楹氏校点本の大量の遺漏や誤りを正しており**、それには進書表、正文、出処、篇名等が含まれるほか佚文の補充と重要な異文も収録、《談本》の変更箇所にはすべて校記を記すなど新たな通行本となりうる内容を持った《太平広記》の決定版とされます。

## 【総目】

### 第一冊

総目

《太平廣記會校》序

整理説明

校勘凡例

太平廣記表

目録

卷第一至卷第十二

第二冊～第十九冊

卷十三至卷四百七十九

### 第二十冊

卷四百八十至卷五百

本書校勘引用暨参考書目

後記

《太平廣記會校》索引

《太平廣記會校》篇目索引

《太平廣記會校》引書索引

# 太平廣記會校卷第一

神仙一

老子

木公

廣成子

黃安

孟岐

## 老子

老子者，名重耳，字伯陽，楚國苦縣曲仁里人也。其母感大流星而有娠。雖受氣於天〔一〕，然見於李家〔二〕，猶以李爲姓。或云，老子先天地生。或云，天之精魄，蓋神靈之屬。或云，母懷之七十二年乃生，生時，剖母左腋而出。生而白首，故謂之老子。或云，其母無夫，老子是母家之姓。或云，老子之母，適至李樹下而生老子，生而能言，指李樹曰，以此爲我姓。或云，上三皇時爲玄中法師，下三皇時爲金闕帝君，伏羲時爲鬱華子，神農時爲九靈老子，祝融時爲廣壽子，黃帝時爲廣成子，顓頊時爲赤精子，帝嚳時爲祿圖子，堯時爲務成子，舜時爲尹壽子，夏禹時爲真行子〔三〕，殷湯時爲錫則子〔四〕，文王時爲文邑先生，一云守藏史。或云，在越爲范蠡，在齊爲鴟夷子，在吳